

## 五戸総合病院での研修を終えて

令和3年11月 研修医

八戸赤十字病院

初期臨床研修医 外館綾華

落葉舟が五戸川で鮮やかに見られた頃、11月1日から12月3日までの約1ヶ月間、地域医療の一環で、五戸病院で研修をさせていただきました。五戸の土地に来たのは初めてでしたが、自然豊かなこの街は地元岩手を彷彿とさせるような懐かしさもある街でした。

私は、地域医療の期間中、産婦人科を中心に研修させていただきました。産婦人科での研修は検診センターでの検診、外来、病棟、手術まで幅広くたくさんの方のことを学びました。今までの研修期間中は実際に検診や一般外来に携わる機会は少なく、五戸病院での全ての経験が大変貴重なものでした。特にも妊婦健診では1ヶ月の間に沢山の妊婦さんを見ていくなかで、胎児エコーを通して赤ちゃんの成長過程を見ることができ、とても勉強になりました。外来でみていた妊婦さんのお産の際には最初の陣痛から出産を、そして産後健診まで関わらせて頂き、自分自身、産婦人科を志した原点に立ち返ることが出来ました。

この地域医療期間中に、自宅や特別養護老人ホームへの訪問診療をする機会もありました。普段の研修生活では急性期での患者さんのほんの一部しか見ることが出来ず、その患者さんがどういった方なのか、どういう生活をしていたのかまではなかなか知ることはありませんでした。訪問診療を通して、自分の足では病院に通えない患者さん自身のひとりとなり、患者さんを取り巻く環境や生活を知る中で、地域に根ざした病院の必要性を痛感し、地域医療とはなにかを考えるきっかけになりました。患者さん、そして患者さんの家族の住み慣れた愛着のある土地で医療を受けられることの大切さ、他職種での連携で地域全体を見守っていく重要性を感じました。五戸の患者さんから「頑張ってるね、応援してるよ」とお声掛け頂き、私自身も力を貰うことの出来る貴重な体験でした。

この1ヶ月間、本当にたくさんの方のことを学ぶことが出来ました。この一カ月は私の研修医生活においてとても貴重な体験で、多くのことを吸収し成長できる時間でした。このような機会をくださり、五戸病院の皆様方には感謝の気持ちでいっぱいです。

最後になりましたが、この研修期間中産婦人科の基礎を教えてくださいました井戸川先生はじめ、安藤院長、多くの先生方、五戸病院を支えるスタッフの皆様方、本当にありがとうございました。まだまだひよっこですが、次にお会いできる時には少しでも成長した姿をみせられるよう、残りの研修医生活、日々精進していきたくと思います。